

フォトジャーナリスト 久保田弘信 講演会

今 イエメンで起こっている真実

■ 7月7日(土) 14:00~15:15

入場無料

■ 鳥取市福祉文化会館 4階 第2会議室

この度、一年間取材のセットアップをしたイエメンに行ってきました。内戦が始まってから取材に訪れたのは日本人では僕が初めてです。

シリアやイラクと違って取材に入ることが難しいイエメンでは大変な人道危機が起きていました。

昨年末の時点でコレラの感染者が100万人にも上っています。取材に訪れた国内避難民キャンプには、半年に一度の国連からの支援物資が届くだけで、350のテント暮らしの人たちが死に面していました。

「冬はとても寒く、子どもが凍死してしまった」と、父親に訴えかけられました。もうすぐ、冬は終わりますが、暑くなればまた感染症が心配されます。

日々、寒さに子どもたちが命を落として
いる現地のこと是非知っていただきたいです。

久保田弘信 拝



□ 久保田弘信氏 プロフィール

フォトジャーナリスト

9.11事件の以前からアフガニスタンを取材、アメリカ軍による攻撃後、多くのジャーナリストが首都カブールに向かう中、タリバンの本拠地カンダハルを取材。

2003年3月のイラク戦争では、攻撃されるバグダッドから戦火の様子を日本のテレビ局にレポートした。2010年戦場カメラマン渡部陽一氏と共に「笑っていいとも」に出演。

2013年以降シリア難民を中心にシリア内戦の状況取材し続ける。



● イエメン共和国 (首都 サヌア / 人口 約2,747万人)

2014年9月以降、反政府武装勢力のホーシー派が首都サヌアを占拠し、現在もサウジアラビア等連合軍の支援を受けた政府軍と戦闘が継続、治安が非常に悪化している。また、反政府系組織「アラビア半島のアル・カーイダ」(AQAP)によるテロも続発、避難した人は300万人以上になる。国は深刻な食糧不足に直面しており、国内避難民、また国内避難民が暮らす地域社会の住民の蓄えが枯渇し始めている。

お問い合わせ：鳥取県ユニセフ協会

〒680-1202 鳥取市河原町布袋597-1 鳥取県生協内 【開局日】月・火・金：10~16時、水：10~12時

TEL/FAX：0858-71-0970

E-Mail：unicef-tottori@juno.ocn.ne.jp